

第3回 川口市子ども・子育て会議 議事録

開催日時 : 平成26年3月19(水)
午後2時から
開催場所 : 本庁舎2階
第3会議室

■出席委員(敬称略)

松原委員、榎本委員、臼倉委員、松枝委員、一色委員、倉持委員、
小松委員、浅沼委員、庵地委員、綿引委員、中島委員、
山南委員(途中より)

■欠席委員(敬称略)

尾木委員、加藤委員、中村委員

■傍聴者:なし

■配付資料

資料1:川口市子ども・子育て支援に関するニーズ調査結果の概要
資料2:教育・保育提供区域について
資料3:今後の予定について

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 議事

議題1 川口市子ども・子育て支援事業計画策定に関するニーズ調査結果の概要について

○コンサル

資料1に基づき説明。

○会長

質問はありますか。

○委員

2点ある。1点目、一時預かり、病児預かりについてのニーズ調査は後日か。もう1点、最後の満足度について。川口市は3以下だったが、他の自治体はどうか。一般的に平均はどのくらいだったのか。お答えできれば聞きたい。

○コンサル

一時預りの実態や利用希望についてもアンケートで聞いたが、今回の概要版には含めてない。結果については改めて報告する。

2つ目の満足度について。これはアンケート回答者の主観的な評価なので、一概に他の自治体と比べることはできないが、全体としてみると、何らかの不満を持つ人が多いと考えられる。これをどう受け止めるか。これから新制度に向けて、市として可能な限り、支援の施策を充実させる方向で検討して、この満足度の評価を上げていくということが指標になる。これを1つの基準にして、満足度を上げていくということを目指しながら施策をやっていくという意味で数字を捉えるべきと考えている。

○委員

資料の「今後の予定について」を見ると4月には県に報告することになっているが、川口市はいつ県に報告するのか。

○コンサル

今回、全国の自治体がアンケート調査を同じようにやっている。今日、議事3のなかで、事務局から説明があると思うが国が4月中に数字を集めると言っている。川口市の場合は埼玉県に報告して、県が国に報告することになる。都道府県によって、自治体からデータを集める時期にばらつきがある。埼玉県の場合、はっきりしていないが、3月末から4月上旬を目処に、ニーズ量を出して県、国に報告できる準備を整えていく。それについては、このあと議事2のなかでテーマとする教育保育提供区域の設定も関わってくるので、それを踏まえながら今後ニーズ量を出していくということになる。

○会長

国が示している計算式があるので、その数式に川口市の数字をあてはめることになる。

○委員

資料1のP22、P23のアンケートについて、今回のニーズ調査は問題を抱えていない人も回答しており、悩みを抱えている人への踏み込んだような調査項目があっ

てもいいと思うが、ただ、今回のニーズ調査は国の数値目標等のからみかがあるので難しいと思う。

○委員

10地区に分けた回答数と回収率は出ているのか。

○コンサル

アンケートのなかで、地区についての回答があるので、どの地区からの回答ということは分かる。地区別にみると、就学前はいずれの地区も回収率は40%台。1番低い地区が42.6%、高いところが49%ぐらい。小学生は就学前よりもばらつきがあって、1番低い地区が33%、高いところが47%ぐらい。他の自治体では地区別の回収率はあまり出していないが、ばらつきが当然ある。しかし、川口市は同じような回収率なので良い結果だと考えている。

○委員

就学前と小学生で、P24、P25のインターネットの差がでていますがこれはなぜか。親の年齢だけの差なのか。この部分について、クロス集計をやる予定はあるのか。

○委員

就学前の親は、地域のつながりもなく、親同士のつながりもないので、インターネットに頼る。小学生の親になると子どもから情報も入ってくるので、インターネット利用が減ってくるのではないか。

○会長

クロス集計については、項目数が多いので大変な作業となる。しかし、単純に親の年齢が若いから就学前の親がインターネットを利用しているものというものではない気がするが、それを証明するのは難しい。

○委員

今の意見についてですが、実際この世代の子どもを持つ親としては、確かに言うとおおり、小学生に上がってからのほうが友達から得られる情報もあるので、そこまでインターネットに頼らなくても良くなる。

また、インターネットから手に入れた子育て情報について、おやつ作り方も子育て情報の1つであるし、子育て拠点を探す場合も1つの子育て情報を得ていることになる。就学前というのは、広範囲にわたってインターネットを利用して、子育て情報を手に入れているのではないか。

注目すべき点として、これだけインターネットが利用されているのであれば、市も、書面だけではなくて、情報の発信としてインターネットが利用できるのではないか。

○委員

そもそも子育て情報とは何か。お弁当の作り方。おやつの作り方。親と子との手遊びについて。これはすべて子育て情報。子育て情報というのは、とても幅広いもの。就学前の親は、おやつの作り方にとっても関心が高い。多岐に渡るので読めない。

○会長

行政施策として、子育て情報の発信は大きなもの。他にあるか。

○委員

P20、P21、4年生から6年生の学童保育の利用率について。これから進めて行くにあたって、10地区で、利用することが多いのかどうかということは必要なのか。

○会長

学童保育のニーズ量を出すというのは国の指針。

○委員

計算式にあてはめると何が出るのか。

○会長

子どもの数の推計値が出る。計算式の基になるのは、児童人口の推移、保育所の数。最終的には、この時期にはどのぐらいの保育所、学童が必要になるのか。

○委員

はい。

○委員

学童保育室とは、市で行っているのか。ここでは、利用している人が24%だが、利用していない人の中に、民間のものが入ってくるのか。

○事務局

小学生のアンケートを見ると、市立、民間の区別はしていない。

議題2 教育・保育提供区域について

○事務局

資料2に基づき説明。

○会長

地区は最大で10、最小で1。川口市は具体的に何地区にするという提案はないのでこのなかで決めていきたい。なにか質問、意見はあるか。

○委員

市の総合計画のなかでは何地区としているのか。

○子育て支援課長

行政として、10区域。

○会長

地区を分けすぎてしまうと、保育・教育施設をつくるときに問題がでてしまう。なかなか難しい。

○保育課長

10区域では、多いのではないかと考える。JRやSRの路線を参考にしながら、今後ニーズ量を分析する中で、複数の区分けを検討していきたい。

区域の設定について。設定をどうするのか。10地区にすると、多すぎる。ニーズ量を分析する中で、考えていきたい。交通の問題もあるので、10地区ではなく、複数に分けるという考え方を事務局のなかではしている。

○会長

ありがとうございます。他に意見はあるか。

○委員

認定こども園などの施設が増えることは良いことだとは思いますが、施設によっては、定員割れが出てくる。区域設定は非常に難しい。将来を考えると、認定こども園についても区域設定を考えていかないといけないかもしれない。

○委員

例えば3地区ぐらいにするとする。市民の生活環境などのまちづくりの面からも考えないといけない。ニーズがあるからやるのではなく。将来のまちづくりのためにやる。色々な要素を考えなければならない。そういう結果として、10地区にするので

はなく、3地区で考えるなど。これは、市民の生活領域であるとか、或いは学校。現状だと、ほとんど学校がないところなどもある。

○会長

関係者に色々ヒアリングをしながら決めていく。

○子育て支援課長

これからニーズ調査の結果を基に区域設定を考えていく。この計画については、まずは事務局が原案を作り、そのなかには、現状の市の実施状況も加味したうえで、計画をたてたいと考えている。

○会長

この会議の議論に原案を持ってくるという理解でよろしいでしょうか。

議題3 今後の予定について

○事務局

資料3に基づき説明。

○会長

ありがとうございます。たぶん国はもう少し遅れると思う。

○委員

何点かあるのですが。2月の段階で説明会を何度かやっているようだが、どういう中身か。それから4月になると施設に対する意向調査とあるが、この施設とはどのような施設か。

それから2点目。条例がかなり出ると思うが、例えば施設側への説明はどのようにしていくのか。

それから3点目。市民への説明。

それから4点目。補正予算の中身は。

○保育課長

まず、1点目、1月から2月の説明会は、家庭保育室や認可外保育施設、また、幼稚園事業者に対し、新制度の概要と説明と移行に係る補助制度等について説明している。また、公定価格が今後示される予定であるので、それを踏まえ、各施設の移行調査を4月に実施したいと考えている。移行希望がある事業者とは、相談に応じるなど準備を進めていく。

2点目、小規模保育の認可基準等について、条例化する。施設に対しては、必要な情報を説明していく。

3点目、市民へは、平成27年4月の入所受付にあわせ、適切な時期に説明していきたいと考える。

4点目、補正予算については、認可保育所など来年度開所の施設整備に向け、補助金等市として必要な予算を確保するためのものである。

○会長

他にありますか。

○委員

このアンケートの細かい部分。これ以外のところにお母さんたちの共通点が入っているのではないかと思った。

○会長

公表予定ということか。

○委員

はい。

○子育て支援課長

このニーズ調査の個々の詳細については、今回は概要だが、整理したうえで改めて示す予定。

○会長

以上でよろしいでしょうか。

○事務局

委員長ありがとうございました。それでは、閉会にあたりまして榎本委員から挨拶をおねがいします。

○委員

来年はとてもタイトなスケジュール。みなさんと一緒により良いものを作りあげていきたいと思っている。4月にこの場でお会いして議論をすすめて、計画づくりをすすめた

○事務局

ありがとうございました。

○福祉部長

-福祉部長挨拶-

○事務局

以上をもちまして閉会いたします。

4. 閉会

以 上

平成 年 月 日

委員

委員